



女性活躍に向けた企画案

～中小企業において女性が働き続けるためには～

輝く女性管理職ネット グループC

(株)トクヤマ 相本美佐江

(株)カネヤス 木村まどか

(株)シティーケーブル周南 早川智子

防通トランスポート(株) 内田香代子

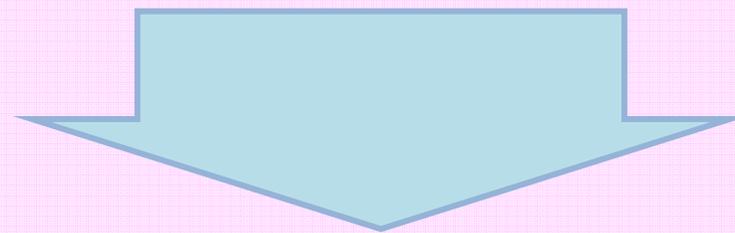
山口朝日放送(株) 末永弓子

(株)宇部情報システム 湊上洋子

1.背景

- 山口県における中小企業の構成比は、99.9%となり、小規模企業の構成比は、85.5%となる
(全国における構成比：中小企業 99.7%、小規模企業 85.1%)
- 一方で、中小企業における女性を取り巻く労働環境は、大企業にくらべて整備できない現実もある

(出典：中小企業白書2016)



<検討テーマ>

中小企業において女性が働き続けるためには

2. テーマの目的・達成目標

<検討テーマ>

中小企業において女性が働き続けるためには

(1) 中小企業の現状を知ってもらう

(2) 現状の課題について、改善案を提示する

3. 中小企業各社の状況

- 代替要員がないため育児休暇等の取得も難しく、結果的に退職をせざるを得ない
- 就業規則が整備されていない
整備されていても、形骸化されている
- 女性管理職が少なく、ロールモデルもないため女性社員がイメージできない

女性が継続して働けないのは何故か？

4. 課題

女性が継続して働けないのは何故か？

(1) 職場の協力・理解が得られない

(2) 子供を預ける場所がない

(3) 男女意識の相違

これを解決するためには？

6.施策 ①

課題① 職場の協力・理解を得るためには？

経営者に現状を知ってもらう必要がある

- 輝く女性管理職ネット参加企業のトップ対談
 - － 企業規模等の異なる参加企業の状況を共有
 - － 各社の取り組みを共有
- イクボス浸透
 - － やまぐちイクボス同盟(仮称)を立ち上げ参加企業を募る
 - － 参加企業にイクボスシールを配布する
- 企業向け助成金や施策の周知を図る
 - － 申請について気軽に相談できる窓口の充実・一本化

トップの考え方が変わらないと会社は変わらない

6.施策 ②

課題② 子供を預けるには？

仕事に柔軟に対応できる環境が必要

～急な業務トラブル・子供の病気・小1の壁～

モデル
事業

- 24時間対応の公的保育所を設立

～休日診療所・病院施設に併設～

－ 多様な保育サービスを実現

- 平日、休日
- 延長保育、夜間保育を提供
 - － 市内の保育所、小学校からのバス等の送迎サービス
- 病児、病後児にも対応

多様な働き方・多様な保育サービスの充実が求められる

6.施策 ③

課題③ 男女意識の相違

男女の意識差をうめるには？

- 自ら声をあげよう！
 - － 家庭内で
 - 家事・育児の役割分担について話し合ってみる
 - － 職場で
 - 働き続けたいという意思を明確に宣言する
その上で、公的な助成金制度・相談窓口を活用しよう
 - 育休取得などの前例がない職場で第1号になることを恐れない　ロールモデルになろう！！

6.施策 ③

課題③ 男女意識の相違

- 自らスキルをあげよう！
 - 会社にとって『残って欲しい人』になる努力を怠らない
免許の取得・専門知識の習得・熟練の技など
 - 仕事の改善・効率化を進める
 - 時間内に仕事を終える努力をする
 - 急な休みにも対応できるよう仕事の共有化を図る

キャリアアップを恐れない！！

6. 施策(総合)

(総合施策) 女性が働き続けるためには・・・

- 働く女性の公共SNSサイト
 - 壁にぶつかった時、気軽に情報共有ができるように
 - 独りで抱え込まないように
 - 社外人脈をつくる

独りで悩むより、先輩ママの体験談を
気軽に聞ける・相談できる機会が欲しい！！

7. 施策効果

- 会社が女性社員を使い捨てにしない
その結果、会社に対する信頼や仕事に対する熱意が生まれる
- 多様な保育サービスを充実させることで、利用者は自分にあった保育サービスを選択でき、家庭・育児と仕事の両立が実現しやすくなる
- 親は安心して働けると同時に、大人に守られている実感を子どもに常に感じさせることで、心豊かに成長できる
- 固定観念や価値観を変えることで、男女がお互いを認め合える関係を築いていける
- 国や企業のトップが持続的に男女共同参画を推進することで企業風土・意識が変わっていく

8. まとめ

国・県・市の施策は改善してきていることがよく理解出来た
一方でPR不足と私たちの無関心さもよく分かった

女性活躍促進を実現するための提言

- 女性管理職ネットのネットワーク作りを継続
 - 官・民も含めたメンバー構成
 - 今後の勉強会(2回目以降)に1回目メンバーもオブザーバーとして参加
- 他県の女性管理職ネットと交流会を開催
- 「介護」に対するネットワークづくりも実施していく